

秋のウォーキング教室

自然に身も心も癒される



都路公民館と大越公民館共催で秋のウォーキング教室が11月1日に行われ、都路・大越地区から30人が参加しました。

グランデコセンターからゴンドラで山頂へ行き、裏磐梯の「デコ平湿原」を散策しました。天気も良く、自然の豊かさに心も癒され、参加者は満足していたようです。

正月飾り作り・もちつき

伝統文化に親しむ

12月5日、歴史民俗資料館で「正月飾り作り・もちつき」が行われました。

参加した子どもたち約110人は、船引町ボランティア会の指導で、ワラを使って正月飾り作り（しめ縄作り）を体験しました。また、千本ぎねを使ったもちつきも体験し、伝統文化に親しみました。



カブトン ゆるキャラグランプリで県内1位に！

インターネットなどで全国のゆるキャラ日本一を決める「ゆるキャラグランプリ2015」にエントリーしていた田村市のPRキャラクター「カブトン」が、念願だった福島県内ゆるキャラの部門で1位になりました。カブトンは12月3日、チーム・カブトンとして投票を呼びかけた田村市復興応援隊の小林奈保子さん、(株)常葉振興公社の志村社長、吉田施設長と市役所を訪れ、1位になったことを富塚市長に報告しました。

ゆるキャラグランプリ2015には全国から1,727体のゆるキャラがエントリーしていましたが、カブトンは27,259票を獲得し、総合順位167位と、昨年の328位を大きく上回る結果となりました。今後も「カブトン in ムシムシランド」のフェイスブックを毎日更新し、田村市の魅力の情報発信に努めていくそうです。

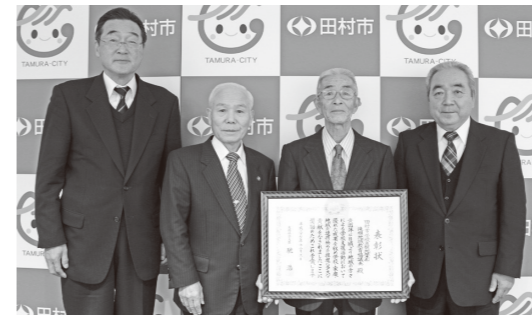


滝根地域教育協議会 文部科学大臣表彰を受賞

市教育委員会では、地域全体で学校を支え、子どもたちを健やかに育むため、小中学校・幼稚園と地域とが連携し、学習支援や登下校の安全確保など、地域住民のボランティアによる学校支援活動を進めています。

このたび、学校支援地域本部・滝根地域教育協議会（先崎毅会長）による学校支援活動の功績が認められ、12月3日に東京・霞が関の文部科学省で、平成27年度優れた地域による学校支援活動推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞しました。12月11日には、先崎会長とコーディネーターの會田慶吾さんが市役所を訪れ、富塚市長に受賞を報告しました。

滝根地区における学校支援活動は平成23年度にスタートしました。これまで多くの地域ボランティアの皆さまに支えられ、授業の学習支援や部活動、環境整備、本の読み聞かせ、図書整理などの活動を行ってきました。



※本事業では、学校を支援して下さるボランティアの方々を募集しています。年齢、性別、お住まいは問いません。特別な資格もありません。

あなたも学校の応援団になってみませんか？

関心がありましたら、各地区の公民館へお気軽にお問い合わせください。

生涯学習セミナー クリスマスリース作りに挑戦

12月4日、滝根公民館で生涯学習セミナー「クリスマスリース作り教室」が開かれ、13人が参加しました。都路町の青木節子さんの指導により、直径約35cmの土台に松ぼっくりなどクリスマスらしい飾りつけをし、重厚感のあるリースを作り上げました。完成したリースに参加者は大喜びで、自宅に持ち帰りました。



県統計グラフコンクール 市の中学生が受賞

第65回福島県統計グラフコンクールの表彰式が11月4日、福島市杉妻会館で行われ、船引南中学校の3年の三輪千紘さんと矢吹優季さんが県知事賞を受賞しました。これで3年連続受賞の快挙です。同日、三輪さんと矢吹さんは市役所を訪れ、助川教育長に受賞を報告しました。

●受賞の言葉「私達は、1年生の時からこのコンクールに応募してきました。念願の県知事賞を頂くことができ、とてもうれしいです。エクセルやワードを使い、みんなに注目してほしい所の色を変える等、工夫を重ねました。今まで努力してきた本当によかったと思いました。」



原子力損害賠償要望 市長が県市長会代表として国などに要望

11月26日、富塚市長は福島県市長会を代表して、鈴木副知事と一緒に文部科学省、経済産業省、復興庁、自由民主党本部、公明党本部、民主党本部を訪れ、原子力損害賠償の完全実施について要望活動を行いました。この要望は、福島県原子力損害対策協議会が行ったものです。同協議会は、県知事をトップに、県市長会など各種団体で構成されています。

「原子力損害賠償の完全実施に関する緊急要望」を各省庁・各政党の代表者に手渡し、原子力を国の政策として推進してきた責任を果たすよう要望しました。

